

# YAおすすめ本

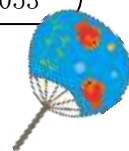


NPO法人紙のまち図書館

三島図書館 2017.7.20 発行

四国中央市三島宮川 4-8-57 (0896)28-6053

## 2017年 夏~Summer



夏休みが始まりました。進路や勉強についてじっくりと考えたい時期ですが、中高生の皆さんに読んでほしい本があります。おすすめ本として紹介しますので、時間を見つけて読んでみてください。

### ◎ 「つなみ」 パール・S・バック著 怪書房

大津波で家も家族も奪われた少年。周りの人との愛情から成長・再生していく姿が描かれています。



### ◎ 「片目のオオカミ」ダニエル・ペナク著 白水社

人間に傷つけられた片目の狼と優しい心を持った少年とのやりとり。人間と動物の共生について考えさせられます。



### ◎ 「希望ヶ丘の人びと」重松清著 小学館

希望を見つめる町、希望ヶ丘。将来や進路のこと等、不安を抱える全ての人に読んでもらいたい1冊です。悩みに対して前向きになれる、そんな思いが詰まっています。



### ◎ 「みつばち高校生」森山あみ著 リンデン社

女子高生がはじめた養蜂部が、創部3年で「農業高校の甲子園」とも称される日本学校農業クラブ全国大会で優勝するまでを綴ったノンフィクション。



### ◎ 「ちいろいろつつみ紙のはなし」福音館書店

とびきり素敵な旅のおはなし。なんと主人公はちいろいろつつみ紙。切ないくらい可愛らしくて笑顔になれる1冊です。



### ◎ 「いのちの音がきこえますか」柳沢桂子著 ユック舎

生を受けて生まれてきた全ての人に係る「生命」のお話し。これから父・母になるYA世代の人にもおすすめです。



### ◎ 「西の魔女が死んだ」梨木香歩著 小学館

「自分の意思で決める事」西の魔女こと、おばあちゃんとの約束。生きる事、死に対しても向き合えるお話です。



### ◎ 「おばあちゃんの記憶」エルヴェ・ジャウエン著 さ・ら・え書房

アルツハイマー病になった祖母と共に生きる家族の物語。フランスの豊かな自然の描写に心が優しくなる内容です。



### ◎ 「中学の知識でわかるアインシュタイン理論」大方哲著 楓書店

科学の面白さに改めて気づかされる内容です。科学に興味のある人必見ですが、知識や関心のない初心者でも読みやすく、解りやすいので、苦手な人も本を通じて科学好きになるかもしれません。



### ◎ 「クジラに救われた村」ニコラ・テイビス著 さ・ら・え書房

イヌイトの少女が主人公の物語。北極圏最大の北極クジラを巡り、海の汚染、捕鯨船での乱獲等、地球・環境問題について考えてみませんか。

